

ツアーNo	発着地	レベル	宿泊	高山病の影響	高所対応機器	最少催行
7003	東京・関西	E	ロッジ	あり	携行	3名

受注型企画プラン クープとロールワリンの境界に聳える美しい16km峰

パルチャモ (6,187m) 登頂20日間

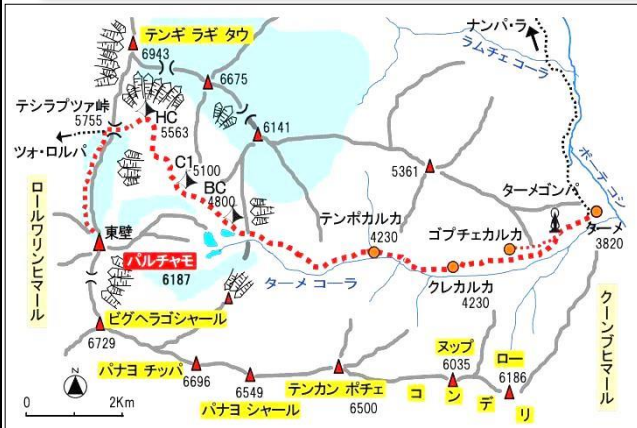
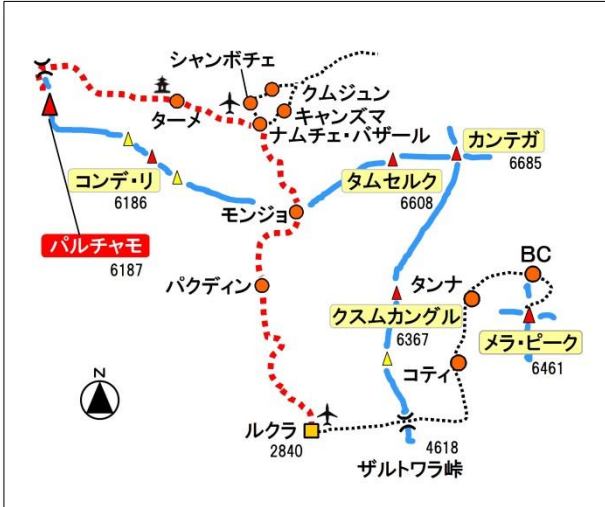
クープとロールワリンの境、テンギ・ラギ・タウとデン・カンボチエの間に聳える美しい山、パルチャモ。テシラプツァ峠までの前半や頂上までの後半ともに落石、クレバス、かなりの高度感など課題も多い。

日	旅程 (日数の赤字はキャラバン/登山行動日)	食事
1	日本 → アジア都市乗継 → カトマンズ	カトマンズ泊(ホテル) 一機機
2	カトマンズ滞在 (登山許可手続、登山準備)	カトマンズ泊(ホテル) ホ××
3	カトマンズ → ルクラ(0.4h) ✕ パクディン 2680m(約4h)	パクディン泊(ロッジ) ホ昼夕
4	パクディン ✕ ナムチェ・バザール 3446m(約6h)	ナムチェ・バザール泊(ロッジ) 朝昼夕
5	高度順応日 ✕ クムジュン往復 3780m(約3h)	ナムチェ・バザール泊(ロッジ) 朝昼夕
6	ナムチェ・バザール ✕ ターメ 3820m(約5h)	ターメ泊(ロッジ) 朝昼夕
7	ターメ ✕ テンポカルカ 4320m(約5h)	テンポカルカ泊(ロッジ) 朝昼夕
8	登山日1 ✕ テンポカルカ ✕ パルツァムツォBC 4800m(約3h)	BC泊(テント) 朝昼夕
9	登山日・順応日2 ✕ BC ✕ レディンC1(ゴレ) 5110m ✕ BC	BC泊(テント) 朝昼夕
10	登山日3 ✕ BC ✕ C1	C1泊(テント) 朝昼夕
11	登山日4 ✕ C1 ✕ HC(岩小屋) 5563m	HC泊(テント) 朝昼夕
12	登山日5 ✕ HC(岩小屋) ✕ パルチャモ 6187m 登頂 ✕ HC(岩小屋)	HC泊(テント) 朝昼夕
13	登山日6 ✕ HC(岩小屋) ✕ テンポカルカ	テンポカルカ泊(ロッジ) 朝昼夕
14	登山日7・登山予備日	(ロッジ) 朝昼夕
15	テンポカルカ ✕ モンジョ 2840m(約8h)	モンジョ泊(ロッジ) 朝昼夕
16	モンジョ ✕ ルクラ(約6h)	ルクラ泊(ロッジ) 朝昼夕
17	ルクラ → カトマンズ 着後 自由行動	カトマンズ泊(ホテル) 朝××
18	フライト予備日 OP カトマンズ世界遺産観光 終日 自由行動	カトマンズ泊(ホテル) ホ××
19	終日 自由行動 深夜 カトマンズ発 →	機中泊 ホ××
20	午前 アジア都市で乗継 → 午後 日本着	機機一

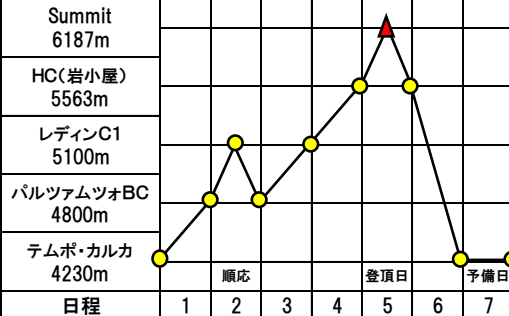
☐ 該当なし 機 機内食 × なし(自弁) ホ ホテル 朝昼夕 ロッジ提供又は同行コックの作る食事

- ◆手配受託人数: **3名(2名)**様以上のお仲間でご計画下さい
- ◇代金について: 3名様以上参加の参考代金は右記を参考にして下さい
- ◇ツアー日数: 19泊20日、ロッジ泊、登山期間はテント泊(機内泊含む)
- ◇登山行動日数: 登山行動は7日間(予備日を含む)、キャラバンは7泊8日を予定
- ◇食 事: 朝18回、昼14回、夕14回(機内食を除く)
キャラバンはロッジの食事、登山期間はコックの作る食事(高所食料を含む)
- ◇行動範囲標高: 2,840m~6,187m
- ◇最高宿泊標高: 5,563m
- ◇ツアーレベル: E 登頂・上級コース 雪山の登山、日本の冬山縦走、雪壁登攀やロープワーク(初・中級)が必要。体力・気力・高度順応と健康管理に取り組む力量が求められる
- ◇登攀ガイド: カトマンズからカトマンズまで現地クライミングガイド(HAP)が同行します(日本語対応)
- ◇利用予定航空会社: キャセイ・パシフィック航空・香港ドラゴン航空・タイ航空
- 登山プラン固有の条件をお渡しします。事前に内容をご承諾のうえお申込み下さい

プランの取扱について
このプランは公募しておりません
お客様の計画に沿って企画、見積、現地手配を行う
受注型企画プランの取扱となります。
ここに掲載の内容はご検討用のモデルプランです。
お気軽にお問い合わせ下さい。



登山行動計画チャートについて(参考)
登山行動計画チャートは参考としての掲載です。比較的ゆとりを持たせた計画ですが、天候・積雪状態、参加者の体調など諸条件により、現場判断により適宜修正の上実施します



ツアー適期	旅行代金の目安(3名催行)
2018 10月初旬~11月初旬出発	68万円~72万円
2019 3月中旬~5月初旬出発	



BC(4800m)



テシラプツァ峠からパルチャモ



HC(岩小屋 5563m)